

検証に使う端末 (iOS)

- OSバージョンが上がっている
- 借りようとする端末がない



MDM (Mobile Device Management)

複数の端末を一元的に管理するための仕組み

- 端末紛失時のリモート制御 (ロック、データ削除など)
- セキュリティポリシーやアプリケーションの配布、管理
- アプリケーションや機能の利用制限と監視
 - OSアップデートの制限

MDM (Mobile Device Management)

複数の端末を一元的に管理するための仕組み

- 管理したいデバイス数がそんなに多くない
- コストが高い
 - セットアップのコスト
 - 例: 19,800円 + 3,600円 * デバイス数

チケット管理

- 端末毎にJIRA上でチケットを作成
- 借りるときにチケットのステータスを変更



チケット管理

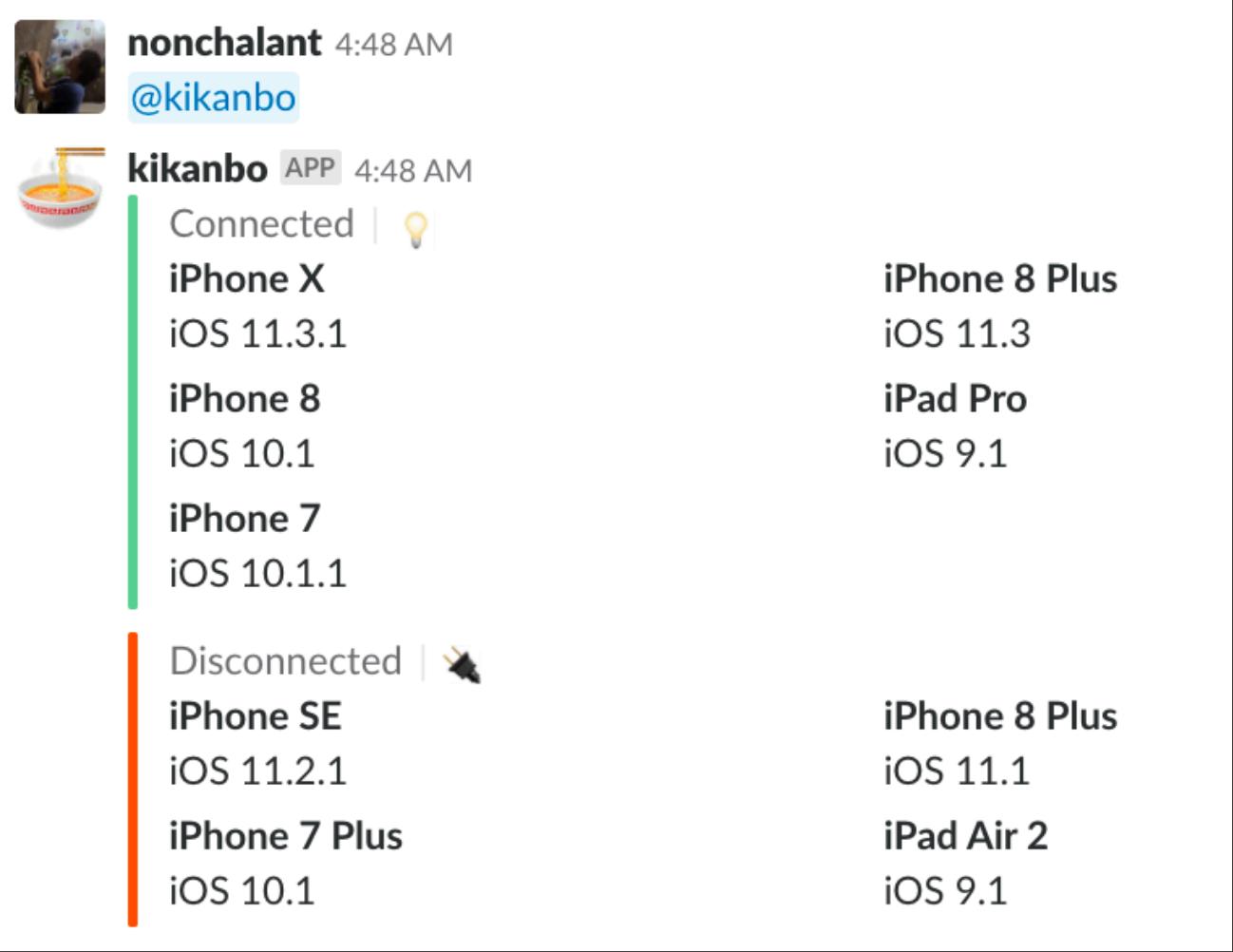
未実施

- ステータスを変更しない人が多そう
- OSバージョンが上がってしまう問題は未解決



SlackBot + MacMiniで管理する

- 各端末の名前, OS, Device情報, 接続情報が表示される



A screenshot of a Slack message from the user **nonchalant** at 4:48 AM (@kikanbo). The message displays a list of devices connected to the bot, categorized by connection status: Connected and Disconnected.

Connected	Disconnected
iPhone X iOS 11.3.1	iPhone 8 Plus iOS 11.3
iPhone 8 iOS 10.1	iPad Pro iOS 9.1
iPhone 7 iOS 10.1.1	
	iPhone 8 Plus iOS 11.1
	iPad Air 2 iOS 9.1

SlackBot + MacMiniで管理する

- Jenkins + Deploy用のMacMiniが余ってた
- 実機でUITestするためにMacMiniに端末が繋がっていた
 - 電話とチャットのテスト

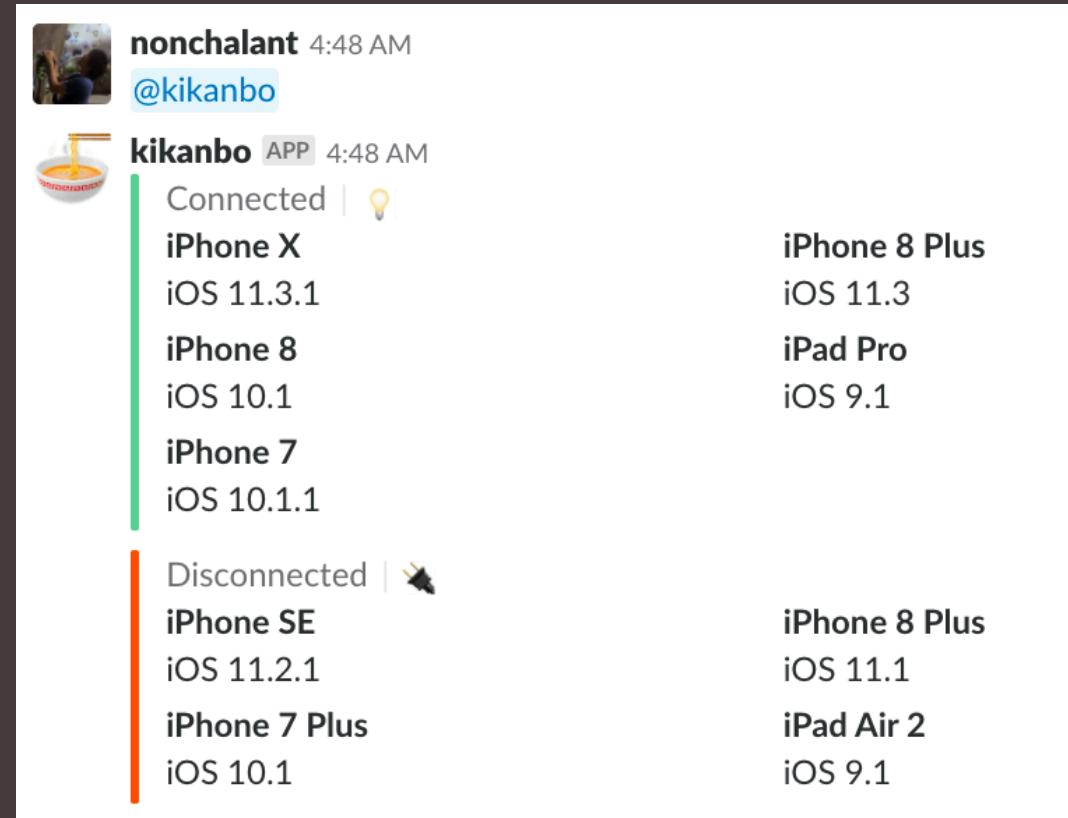
SlackBot + MacMiniで管理する

- 誰が借りたかわからない
 - そんなに問題じゃなかった -> Slackで聞けばいい
- OSバージョンが常に最新の情報で得られる
 - 勝手に上がることじゃなくて乖離が問題だった
- このBotを使っても使わなくても問題ない

OSS

<https://github.com/Nonchalant/kikanbo>

GoのCLIツールとして公開しています



まとめ

- 問題点が何か様々な解決策を検討することで認識できた
 - ツール作りが楽しくてオーバーエンジニアリングしがち
- GoでCLIツール作るの楽しい
 - Cobraというテンプレート生成ツールが便利だった
 - Docker, Kubernetesも使っている
- 時間があればMicroMDMなども試してみたい！



Takeshi Ihara

- AbemaTV (2018/09/01 ~)
- Twitter: @nonchalant0303
- GitHub: Nonchalant

※ 今回は前職の話でした

俺コン (09/12 ~ 13)

9月
12 僕コン 2018 Summer / Day. 1

帰ってきた俺が本当に聞きたかったトークを話してもらうコン



ハッシュタグ : #orecon_ios

フォロー参加者

フォローブックマーク

募集内容

Attendee 無料

先着順 133/150人

グループ メンバーです

俺コン



イベント数 4回
メンバー数 300人

開催前

2018/09/12(水)
19:00 ~ 22:00

[Googleカレンダー](#) [icsファイル](#)

[このイベントに申し込む](#)

開催日時が重複しているイベントに申し込んでいる場合、このイベントには申し込むことができません

募集期間

2018/07/17(火) 11:40 ~
2018/09/12(水) 22:00

[イベントへのお問い合わせ](#)

iOSDC 2018 Reject Conference (09/18)

「Factoryの自動生成によりテストを書きやすくする」という
タイトルで発表します。

The screenshot shows the event page for the iOSDC 2018 Reject Conference. At the top left, it says "9月 18 iOSDC 2018 Reject Conference days1[非公式]" and "iOSDCは、まだ終わっていない". Below this is the event logo, which features the text "Reject Conf" in green and "iOSDC 2018" in brown, with a stylized pencil icon integrated into the letter "o". To the right of the logo is a "グループ" section for "iOSDC Reject Conference" with a member count of 447. Further down, there's a "開催前" section for "2018/09/18(火) 19:20 ~ 22:00" with links to Google Calendar and an iCS file. At the bottom right is a button labeled "申し込みキャンセル".